

# 誇りと絆を育む 緑豊かな住みよいまち

第4次吉富町総合計画後期基本計画

2019-2022

福岡県  
吉富町

# 1

## 総合計画とは

総合計画とは、吉富町の将来像（めざす姿）や、これからのまちづくりの方向性、それを実現するための具体的な取り組みをさだめるものです。



# 2

## 計画の構成と期間

総合計画は基本構想と基本計画の2部構成になっています。基本構想の計画期間は12年間で、まちの将来像（めざす姿）や、将来像を実現するための基本的なまちづくりの方針をさだめています。基本計画の計画期間は前期・中期・後期の各4年間で、将来像や基本構想を実現するために、前期・中期・後期ごとにやるべき取り組み（施策）を、より具体的にさだめています。

### ■計画の構成

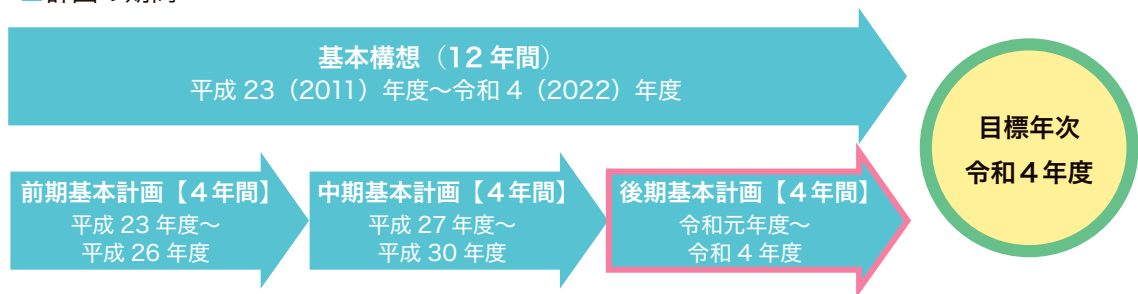
基本構想は、目指す町の将来像を設定し、これを実現するための基本的な方針（施策の大綱）等を示すものです。

基本構想

基本計画は、基本構想を受けて、今後進めていくべき具体的な施策を示すものです。

基本計画  
(前期)  
(中期)  
(後期)

### ■計画の期間



# 3

## 吉富町の将来像

第4次吉富町総合計画では、吉富町の将来像（めざす姿）を下のようになさだめています。

誇りと絆を育む  
緑豊かな住みよいまち

～小さなまちにあふれる輝き～

# 4 吉富町の課題

人口の推移や移動といった数字をもとにした調査や、今回行ったアンケート調査を分析すると、吉富町には下記のような課題があることが見えてきました。

## 課題 1

### みんなの シビックプライド を育てる



近年、町に移住してきた人や、町外で働いている人たちの「町への愛着、住み続けたいという気持ち」が比較的に低いことがわかりました。

こういった人たちが「吉富町民」であることに誇りを持ち、「吉富町が好き、吉富町に住み続けたい」と思うことが、今後のまちづくりが活発になり、まちに活気が出てくることにつながります。

「吉富町が好き、吉富町に住み続けたい」という気持ちである、みんなの“シビックプライド”を育てることが大切です。

#### column

「シビックプライド」って？

「シビックプライド」とは、まちに住んでいる人たちがまちに対して抱く「こんなところが好き、自慢したい」という「誇り」や、「自分自身が地域に関わることで、地域をよりよくしたい」という気持ちのことをいいます。

## 課題 2

### 人が 集まる 空間をつくる



吉富町が元気のある、にぎわいのあるまちになるために必要なこととして「みんなが活動できる場所や機会をつくる」「人が集まり交流できる空間をつくる」といった意見が出てきました。

吉富町のシンボルとなるような、活気のある空間をつくることが必要ではないか、という意見が多くあがっています。

## 課題 3

### 買物や 食事などの 場所をつくる



アンケートなどにより、吉富町の半分の人が町の外で日用品や食料品などの買物をしていることがわかりました。また、町に必要なものとして「居酒屋やカフェ」という意見も多く出てきました。

町に飲食店やさまざまな店舗・事業所ができて、みんなの“住みやすさ”にもつながるような取り組みが必要です。

# 5

## 重点プロジェクト

### シティプロモーションをすすめる

#### なぜ必要なの？

みんなが快適な生活を送るためには今の人口を今後もできるだけ維持していくことが必要です。そのためには「吉富町に住んでみたい」「吉富町に住み続けたい」という人を増やすことが大切であり、その気持ちを持ってもらうために行うことが、シティプロモーションです。



#### 具体的に、何を行うの？

美しいまちなみづくりや、子育て支援や学校教育など子育て環境の魅力化、「そこで働きたい」と思うような仕事の充実など、様々な取り組みが考えられます。大切なのは「住みたい」「住み続けたい」につながるような取り組みを行うことです。

### 「にぎわいの場所づくり」を考える

#### なぜ必要なの？

町ににぎわいをうむために「居場所として使えて、いろんな人が交流できる場所」が必要、という意見が多くありました。また、そこに通う人と相談や話をする中で、孤立したり孤独感をもった人を少なくできたり、自分の知識を深めたりできるという意見もあげられました。



#### 具体的に、何を行うの？

「にぎわいの場所づくり」には魅力的な効果がある一方で、実現するためには場所やお金の確保など、多くの課題があります。今後「場所づくり」に向けた方法や、お金などの課題を含めて、本当に実現できるかどうかといった検討を本格的に行います。

### みんなの意見を取り入れる

#### なぜ必要なの？

みんなにとって「住みやすい町」であるためには、みんなの意見や要望を取り入れてまちづくりを行うことが必要です。そのためにやるのがみなさんと町との意見交換です。



#### 具体的に、何を行うの？

計画の取り組みの一つにもあげられている「住民とともに行うまちづくり」をすすめるためには、まず、まちづくりに興味を持ってもらうことが大切です。WEBや広報よしとみなど、色々な方法により情報発信をすすめるとともに、意見や要望を聞く機会の確保に努めます。

# 6

## 施策の体系

後期基本計画は、5つの基本目標と32の基本政策で構成しています。



# 1

基本目標

## 一人ひとりの「命と暮らし」 が輝くまちづくり

### 1 健康づくりと医療の充実をはかります

今は、「人生100年」と言われる時代です。高齢者になっても生き生きと暮らすためには、健康であることが大切であり、そのためさまざまな取り組みを行います。また、もし病気になっても安心して暮らせるように、医療体制の整備をすすめます。

- 1 糖尿病や高血圧などの生活習慣病を予防する
- 2 親子の心と体の健康を守る
- 3 安心できる医療の体制をつくる
- 4 医療費の健全化をめざす



#### column

#### 「医療費の健全化」って？

現在、医療にかかるお金は全国的に増加傾向で、本町でも医療費の負担が毎年のように増加しています。医療費の健全化とは、その負担（＝出費）を減らすことで、そのカギはみなさんの健康管理です。

バランスの良い食事や適度な運動、質の良い睡眠などにより「病院にいかななくて良い体づくり」を進めることは、みなさんや家族の幸せを守るだけでなく、町のお金の健全化や将来の子どもたちへの負担を減らすことにもつながっているのです。

### 2 ささえ合いのまちづくりをすすめます

高齢者や支援が必要な人をささえる取り組みをすすめます。地域での孤立や困りごとなどの課題を解決するためには、近くの住民どうして「見守り合う・ささえ合う」ことが大切です。それは難しいことではなく、世間話やあいさつから始められます。自分にできることから始めることが大切です。

- 1 地域の一人ひとりを地域でささえ合う「地域共生社会」を実現する
- 2 ささえ合いの人（組織）づくりを促進する

### 3 子育て中の家庭を支援します

「子育てと仕事の両立の支援」をはじめとして、子育て中の家族のニーズにあった取り組みをすすめることで、子どもを産み育てやすい環境づくりをすすめます。また、社会問題になっている児童虐待について、早い発見や防止に向けた取り組みをすすめます。

- 1 子育て中の家庭を支援する
- 2 仕事と子育ての両立を支援する
- 3 児童虐待から子どもを守る



## 4 高齢者の暮らしを ささえます

高齢者になっても住み慣れた吉富町で暮らすことができるように、健康づくりと介護の予防をすすめるとともに、地域包括ケアシステムの構築を目指します。また「助け合い」の考えをもとに、地域でのささえ合いや見守りを行う体制づくりをすすめます。

- 1 地域包括ケアシステムを構築する
- 2 認知症の高齢者をみんなで見守る
- 3 高齢者の「生きがいと健康の場」をつくる
- 4 安心して暮らせる環境をつくる

### column

#### 「地域包括ケアシステム」って？

できる限り住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、また、介護が必要な状態になっても同じように自分らしい暮らしを続けることができるようにするための仕組みのことをいいます。

具体的には、地域で「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の全てが一体的に提供されることで、高齢者やその家族をささえるという取り組みです。



## 5 障がい者（児）の暮らしを ささえます

障がいがあっても地域で自分らしく生活し、個性や能力を生かして社会で活躍できるように、必要な支援を行います。また、障がい者やその家族が地域で安心して暮らすために、吉富町全体で、障がいに対する理解を深めるための取り組みをすすめます。

- 1 日常生活をささえる
- 2 「働くこと」を支援する
- 3 「福祉のまちづくり」をすすめる

### column

#### 「福祉のまちづくり」って？

障がいがあっても地域で安心して、快適に暮らしていける環境づくりのことです。具体的には、公共施設や道路などのバリアフリーをすすめたり、障がいがあっても働ける場所を確保したり、町全体で障がいに対する知識や理解を深めていくなど、障がいがあっても生活できる地域であるために行うさまざまな取り組みのことをいいます。



## 6 生活に困っている人を 支援します

経済的に生活が苦しいという人や仕事をやめた人に対して、自立に向けた支援を行うとともに、必要に応じて、生活保護を受けるための案内を行います。また、高齢者や障がい者の権利を守る活動や、子どもを貧困から守る取り組みなど、福祉に関わるさまざまな課題を解決するための取り組みをすすめます。

- 1 生活保護に関する案内を行う
- 2 仕事をやめた人の再就職を支援する
- 3 福祉に関わる課題を解決する

# 2

基本目標

## 暮らしの「環境」が輝くまちづくり



1

### 計画的な土地の活用をすすめます

生活の快適さや美しい景色を守ること、また、防災など安全性も考えながら、計画的な土地の活用をすすめます。

- 1 「都市計画」にそった土地の活用をすすめる
- 2 住宅地への住宅建設をうながす
- 3 店舗や工場の建設をうながす

2

### 魅力的で美しいまちなみをつくります

道路や歩道を計画的に整備して、美しいまちなみづくりをすすめます。また、公園や駅前広場や町道には木を植えて、緑豊かなまちなみづくりをすすめます。

- 1 美しく愛着のもてるまちなみをつくる
- 2 緑豊かなまちなみをつくる

3

### 自然環境を守ります

今の自然環境を未来まで守っていくために、みんなの「環境を守ろう」という意識を高める取り組みをすすめます。また、地球温暖化が進むのを防ぐために、エネルギーを大切に使う・節約する「省エネルギー」の取り組みをすすめます。

- 1 みんなで環境美化活動に取り組む
- 2 今の自然環境を未来まで守る



4

### 交通基盤を整えます

みんなが安心して吉富町で暮らせるように、買物や病院に行くための公共交通や道路を整えたり、より使いやすくするための取り組みをすすめます。また、歩行者が安全に使える道路が増えるように、歩道などの整備をすすめます。

- 1 公共交通をより使いやすくする
- 2 計画的に道路を整備する
- 3 近くの市や町と連携して、道路の整備をすすめる



## 5 住環境の充実をはかります

定住を支援する取り組みにより町に「住んでみたい」、「住み続けたい」という人の増加を目指します。また、安心安全な町営住宅の整備やバリアフリーのための住宅改修など、快適な住環境の確保を支援します。

- 1 「住んでみたい」、「住み続けたい」人を増やす
- 2 町営住宅の整備・改修をすすめる
- 3 バリアフリーに向けた住宅改修などを支援する

## 6 空家の対策や活用をすすめます

活用ができる空家は、店舗の出店など有効に活用することで、町の活性化を図ります。壊れたり、事故や怪我につながる危険がある空家は、持ち主に対して解体するなどの正しい管理をうながし、まちの安全性や美しいまちなみを守ることにつなげます。

- 1 空家の有効活用をすすめる
- 2 危険な空家をなくす

## 7 快適な水環境を整備します

みんなが安全でおいしい水を使えるように、水道に関する施設の整備などをすすめるとともに、上・下水道ともに安定した経営に取り組むことで、快適な暮らしを守ります。また、下水道が整備されていない地域では、水への負担（汚れ）を減らすために合併処理浄化槽の設置をすすめます。

- 1 安全でおいしい水を安定して供給する
- 2 下水道を計画的に整備する
- 3 合併処理浄化槽の設置をすすめる

## 8 ごみの正しい処理やリサイクルをすすめます

環境にやさしいまちづくりとして、廃棄物を正しく処理することと違法な投棄をなくすこと、また、ゴミ自体の量を減らしたり、資源を再利用するなどの取り組みをすすめることで、環境への負担を減らします。

- 1 家庭の廃棄物を正しく処理する
- 2 工場等の廃棄物を正しく処理する
- 3 ごみの違法な投棄をなくす
- 4 公害を起さない環境をつくる

## 9 災害に強いまちをつくれます

吉富町の防災計画をもとに、災害に強いまちづくりや、災害にあっても被害を最小限にするまちづくりをすすめます。

- 1 火災に備えて、消火用具の整備や消防団の活動を行う
- 2 地震や大雨に備えて、避難訓練や食料品の備蓄を行う

## 10 「安全・安心な暮らし」をつくれます

犯罪のない安全・安心な町にするために、一人ひとりの防犯意識を高める取り組みを行うとともに、お金に関する消費者被害や詐欺被害を防ぐための相談や情報提供をすすめます。また、交通安全に向けて歩道の整備や交通安全教育を行い、安心して暮らせる環境づくりをすすめます。

- 1 犯罪を防ぐ体制をつくる
- 2 交通安全に向けた環境を整備する
- 3 消費者被害や詐欺被害を起こさない体制をつくる

# 3

基本目標

## 人々の「心」と「つながり」 が輝くまちづくり

### 1 学校教育をよりよくします

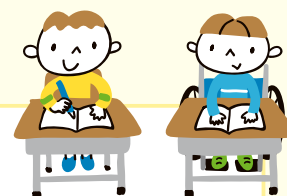
子どもたちの学ぶ意欲を高め、確かな学力を身につける取り組みをすすめます。あわせて、家庭や地域と協力して学校教育を行うなど、特色のある教育をすすめることで、吉富町の教育や子育て環境の魅力を高めます。

- 1 確かな学力を身につけ、個性や能力を伸ばす教育をすすめる
- 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ
- 3 特別支援教育を充実する
- 4 学校施設などの教育環境をよりよくする
- 5 信頼される学校づくりをすすめる

### 2 社会教育をよりよくします

生涯を通じて吉富町で生き生きと暮らすことができるように、いろいろな生涯学習の講座を開くとともに、スポーツや芸術・文化などに関わる人の活動を支援します。

- 1 社会教育に関する施設を適正に管理する
- 2 スポーツに関する活動を支援する
- 3 生涯学習に取り組みやすい環境をつくる
- 4 芸術・文化に関する活動を支援する



#### column

#### 「知っていますか？学校教育が新しく変わります」

学校教育の指針である「学習指導要領」の変更により、小学校で 2020 年から、中学校で 2021 年から、以下のように変わります。（紹介しているのは変更点の一部です）

#### 小学校



●3・4年生は年間 35 時間の「外国語活動」、5・6年生は年間 70 時間の「外国語」の授業が始まります。他にも、「特別の教科道徳」では、教科書を用いて学習します。また、新たにプログラミング学習も始まります。

#### 中学校



●小学校と同じように、道徳が「特別の教科道徳」として教科になります。同様にプログラミング教育も始まり、他にも、自分がこれからの社会の形成に関わっていくという自覚をもち、行動していくための「消費者教育」や「主権者教育」が新たに加わります。



### 3 文化財の保存と活用をすすめます

吉富町の財産である文化財を大切に保存・保護するとともに、その価値を広く、たくさんの人に伝える取り組みをすすめます。また、子どもたちの「地域への誇りや興味」を高められるよう、お祭りや行事などの伝統や文化活動を生かした取り組みをすすめます。

- 1 文化財の保存・保護と活用をすすめる
- 2 地域の伝統の継承・文化活動を支援する

### 4 家庭や地域と協力して子どもの教育をすすめます

学校だけではなく地域が子どもの教育に関わり、子どもを見守っていくことで、地域全体で子育て家庭をささえながら、地域内の交流の活性化をはかります。

- 1 家庭や地域の教育力を高める
- 2 家庭・地域・学校が連携して子どもを育てる

### 5 ふるさとへの誇りや愛着を高めます

町のみなさんに吉富町のさまざまな魅力を伝える取り組みをすすめることで、町への誇りや愛着を高めることをめざします。また、町の魅力をさらに高めるために、人が集まる「にぎわいの場づくり」をまち全体で考え、すすめていきます。

- 1 「ふるさとを知る」活動をすすめる
- 2 人が集まる「にぎわいの場づくり」を考える

### 6 国際交流をすすめます

日本の国際化が加速するなかで、吉富町でも公共施設の案内板に外国語を追加するなどの対応をすすめています。また、町内在住の外国人の方と交流する機会をもうけたり、幼児期から英語教育を始めることで、国際感覚を持った人材の育成を目指します。

- 1 国際社会に通用する人材を育てる
- 2 国際化への対応をすすめる

#### column

#### 知っていますか？ 進む日本の国際化



東京オリンピックの開催決定や、外国人の観光客・労働者の方の増加により、日本の国際化は急速に進んでいます。

例えば、2012年には1,000万人に満たなかった外国人の観光客は、2018年には約3,100万人を記録するなど急速に増加しています。福岡県だけでも、入国した外国人の人数が2017年時点で300万人を超えており、日常生活の中でも外国人の方に出会う機会が増加しています。

# 4

基本目標

## 人々の「しごと」、地域の「産業」が輝くまちづくり

### 1 農業の活性化をはかります

農業の活性化に向けて後継者の育成をすすめるとともに、新たに農業を始める人材の確保や育成をすすめます。また、生産された農産物の地産地消を推進します。

- 1 農作業の効率化や、使われていない土地の有効活用をすすめる
- 2 後継者や新たに農業を始める人材を確保し、育成する
- 3 農産物の生産や販売を活性化する

#### column

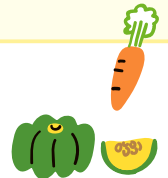
#### 「地産地消ってなんだろう？」

地産地消とは、地域で生産された農林水産物を、その生産された地域内で消費する取り組みのことをいいます。

国の基本計画では、地域で生産されたものを地域で消費する活動を通じて、農業者と消費者（地域）を結び付けることが大切であり、これにより、消費者が、生産者と「顔が見え、話ができる関係」で農産物などを購入する機会を提供するとともに、地域の農業の活性化を図ることと位置づけています。

#### column

#### 知っていますか？ 吉富町の農産物



現在、町では「吉富町園芸作物推進プロジェクト」というプロジェクトのもとに、町の特産ブランドとなりうるスイートコーンやケイトウ、ブロッコリーなどの特産品づくりを進めています。

生産量の増加と特産品としての認知度の向上を目指し、農家のみなさんや JA と連携して、ブランド化の取り組みを進めています。



スイートコーン



ケイトウ



ブロッコリー

### 2 漁業の活性化をはかります

後継者の育成や、吉富町の水産物の販売拡大に向けたPRに取り組むことで、漁業の活性化をはかります。また、アサリなどの水産物の資源の維持に向けて稚魚・稚貝の育成や放流を行うとともに、漁獲された水産物の地産地消をすすめます。

- 1 水産物の資源の維持・回復をめざす
- 2 後継者や新たに漁業を始める人材を確保し、育成する
- 3 水産物の生産や販売を活性化する



### 3 商工業の活性化をはかります

商工会と連携しながら、町内の企業の事業拡大など、商工業の活性化に向けた支援をすすめます。また、事業者や店舗の呼び込みや、空き店舗の活用に取り組むことで町全体の活性化を図ります。

- 1 空き店舗の活用や、吉富駅周辺の活性化をはかる
- 2 商工会など関係団体と連携する
- 3 企業への支援をすすめる

### 4 新たな「しごと」をつくります

新たに会社を起し仕事をはじめる人の起業支援に取り組むことで、新たなしごとづくりにつなげます。また吉富町の農産物や水産物のブランド化や、事業者の収入の向上をはかるために、加工食品の開発など新たな物づくりを支援します。

- 1 町内における起業を支援する
- 2 事業者や店舗の誘致を推進する
- 3 産業の連携による雇用を創出する

### column

### 町ではどんなことをしているの？

#### 1 | 新しく創業する方への支援

町内で、空き店舗などを改修したり新規に建設して創業を目指す方を対象に、改修工事費などの開業のためにかかる費用を町で一部補助しています。

また、創業の準備から経営の相談も、町と商工会でサポートしています。



#### 2 | ガール de マルシェ

町の中心部の駅周辺ににぎわいを創り上げる「女子集客のまち」プロジェクトの1つとして「ガール de マルシェ」を開催しています。ハンドメイドの雑貨や、スイーツやお肉を使った食事など、いろいろなお店が立ち並び、たくさんの方に来場いただいています。



### 5 観光業の活性化をはかります

観光を通じて、町の魅力をたくさんの方に知ってもらう取り組みをすすめます。近くの市や町と連携したPRや、今ある資源の活用、また新たな資源の発掘により、観光業の活性化に努めます。

- 1 資源の活用とPRをすすめる
- 2 新しい観光資源を発掘する
- 3 近くの市や町と連携した取り組みをすすめる

# 5

基本目標

## 人々をつなぐ「仕組み」 が輝くまちづくり

### ① 住民のまちづくりへの参加をすすめます

みんなにとって「住みよい吉富町」を実現するためには、吉富町に住むみなさんがまちづくりに積極的に参加することが必要です。みなさんと町が意見交換をして、協力して地域の課題の解決に取り組むことで、住み良いまちづくりをすすめます。

- 1 住民のまちづくりへの参加をすすめる
- 2 地域のコミュニティを育てる
- 3 住民と町の協力体制をつくる

#### column

#### まちづくりに参加… 具体的に、何をすると良いの？

まちづくりに参加する、そういわれても「何をすれば良いのかわからない」という方も多いのではないのでしょうか。

例えば、地域で行われるお祭りに参加したり、スポーツの行事に参加することも大事なまちづくりです。他にも、先程ご紹介した「ガール de マルシェ」に足を運んだり、地域の子どもの事故や事件に巻き込まれないよう挨拶などをして見守る、というのも大切なまちづくりです。

他にも、困っている子どもや高齢者の方に声をかけたり、ボランティアに参加したり…自分の「やってみたい」「これならできる」ということから、はじめてみてください。



### ② 人権・男女共同参画のまちづくりをすすめます

人権問題に対して、正しく理解するための情報発信をすすめることで、一人ひとりの考えや個性を大切にするまちづくりをすすめます。あわせて、性別に関係無く対等な立場で仕事や家事や育児に取り組む、また男女が協力してすすめていく「男女共同参画」のまちづくりをすすめます。

- 1 人権を大切にすまちづくりをすすめる
- 2 男女共同参画のまちづくりをすすめる

#### column

#### 男女共同参画社会って、 何だろう？

男女共同参画社会とは、「男女が、お互いにその人権を尊重して、責任も分かちあい、性別にかかわらず個性と能力を十分に生かし、主体的に生きることができる社会」ということです。

具体的には、子どものころには「男の子だから青色、女の子だからピンク色」、「男の子はたくましく、女の子はおしとやかに」といった押し付けのような固定概念、大人になったら「男性は仕事」「家事と育児は女性の役割」といった性別で決められた役割分担を押し付けられることなく、誰もが「自分が望むように、自分の好きなものや自分の役割を選んだり主張できる社会」のことをいいます。





### 3 健全で効率的な 行財政の運営をはかります

町では、限られた財源（お金）を有効に使ってまちづくりをすすめるために、具体的な計画にもとづいてまちづくりをすすめています。総合計画もその計画の1つです。他にも、職員のスキルアップや、個人情報などの大切な情報を守ることにより、信頼される行財政の運営に努めます。

- 1 効率的な行政運営を推進する
- 2 健全な財政運営を推進する
- 3 適正な情報管理と情報公開を行う
- 4 電子自治体を推進する

#### column

町では、具体的に  
どんなことをしているの？



例えば、職員のスキルアップについては毎年職員研修を行っており、他にも人事評価の制度に基づいて仕事の評価を行うなどの取り組みを進めています。

他にも、健全な財政運営に向けては、町のお金の使い方や管理の方針を定める財政計画に基づいて、計画の管理のもとに事業に取り組み、定期的に外部の組織によるチェックや評価を受けることで、無駄をなくす取り組みをすすめています。

### 4 情報の発信力を強化します

みなさんと町が協力してまちづくりをすすめるために、みなさんの意見や要望を聞く「公聴」の取り組みをすすめます。また、広報よしとみやホームページ、SNSなどいろいろな方法で情報発信することで、たくさんの方に必要な情報を届ける取り組みをすすめます。

- 1 住民の意見や要望を聞く「公聴」をすすめる
- 2 いろいろな方法で情報を発信する

#### column

見てみよう！  
まちのこんな情報



町では、以下のような方法を利用してみなさんに情報を届ける取り組みを進めています。

- 広報よしとみ（毎月1回発行）
- 吉富町公式ホームページ
- 吉富町観光・物産ガイド（ホームページ）  
「よしこい! 吉富」
- 吉富町子育て支援サイト（ホームページ）  
「はぐくみよしとみ」
- 吉富町移住定住サイト（ホームページ）  
「すもうよしとみ」
- 吉富町公式 facebook
- 吉富町公式 twitter …等々

### 5 近くの市や町と連携して まちづくりをすすめます

災害への対策やごみの処理、水道や道路の管理など、近くの市や町との連携が必要な取り組みはたくさんあります。近くの市や町と効果的に連携をとることで、取り組みの効率アップとサービスの維持・向上をはかります。

- 1 近くの市や町との連携体制を強化する



## 第4次吉富町総合計画後期基本計画

令和元年9月／福岡県吉富町

〒871-8585 福岡県築上郡吉富町大字広津 226 番地 1

電話 0979-24-1122(代表)

FAX 0979-24-3219

表紙写真提供：(株)NTTドコモ九州支社

